

令和元年度第3回幕別町地域公共交通確保対策協議会議案

【書面会議】

1 議 件

- (1) 議案第5号 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
別紙のとおり。

【説明】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱及び実施要領において、国庫補助金を受けて事業を実施する場合は、毎年度、事業評価を行い、北海道運輸局に報告するとともに、公表することとなっているため、別紙1のとおり、北海道運輸局長に対して提出するもの。

※国の要綱等に基づき、本町で実施しているコミュニティバス、予約型乗合タクシーについて、次ページのとおり報告しようとするものです。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年 月 日

協議会名: 幕別町地域公共交通確保対策協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
十勝バス(株)	コミュニティバスの運行 ・幕別線1 ・幕別線2 ・札内線 車両減価償却費等国庫補助金 ・幕別線 ・札内線	・コミュニティバスの町民アンケート調査結果や出前講座で聞き取りした意見を参考に、幕別線は市街地中心部で用足しをして往復利用できるように、札内線はバスを1台増台してバスの乗車時間を短く、かつ、往復利用ができるように平成30年10月から運行を開始した。 ・コミュニティバスを利用した統一地方選挙、国政選挙の期日前投票者に無料サービスを提供し、利用促進を図った。 ・町図書館において運賃無料のコミバスデーに合わせ「コミバスde映画会」を開催し、コミバスの利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標利用者数は、幕別線が5.6/便、札内線が9.0人/便に対し、実績が、幕別線が5.0人/便、札内線が5.2人/便であった。 様々な機会での周知活動を行った結果、幕別線については実績が伸びてきている。札内線については、平成30年10月より1台から2台運行が開始し、増便したため、1便当たりの利用者数は減少したが、総体の乗車人数は伸びてきている。	・今後の停留所毎の利用者数を鑑みて、停留所設置箇所の見直しが必要となる。
エイシン運輸(有)	予約型乗合タクシーの運行 ・駒島線	制度周知のために、単位老人クラブや地域サロンに対して、出前講座を開催した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標利用者数2.0人/便に対し、実績は1.7人/便であった。 様々な機会での周知活動を行った結果、実績が伸びてきている。	引き続き、住民に対し、予約型乗合タクシーについての出前講座などを開催し周知に努める。 また、イベント開催時に合わせ予約型乗合タクシーの利用を呼び掛ける。
北斗タクシー(有)	予約型乗合タクシーの運行 ・古舞線	制度周知のために、単位老人クラブや地域サロンに対して、出前講座を開催した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標利用者数2.1人/便に対し、実績は2.2人/便であった。 様々な機会での周知活動を行った結果、実績が伸びてきている。	今後も目標利用数を下回らないよう、住民に対し、予約型乗合タクシーについての出前講座などを開催し周知に努め、予約型乗合タクシーの利用を呼び掛ける。